

大腸がん地域連携パス運用方法（医療者用）

和歌山県立医科大学附属病院

病棟主治医

1. 地域連携パス説明書・同意書について説明
2. 大腸がん地域連携パス（医療者用）について説明し患者に渡す
3. かかりつけ医を決定し、パスに連携する医療機関名を記入
4. コスト算定

（電子カルテから 指示②→指導料→＜一般指導料＞がん治療連携計画策定料）



外来主治医（退院後初回受診日）

1. かかりつけ医へ（5大がん連携パス用）診療情報提供書を記載し患者に渡す
（電子カルテから カルテ→紹介状作成→（5大がん連携パス用）診療情報提供書）



病棟看護師

1. わたしのカルテに必要事項記入（連携する医療機関名や今後の受診日程等）
2. わたしのカルテについて説明

- がん地域連携パス（患者用）について
- 自己チェックシートについて
- わたしのカルテを診察時（当院、かかりつけ医とも）に持参することを説明

使用方法についても説明してください

3. 地域連携室へ連絡

（大腸がん地域連携パス（共同診療計画書）コピー1部を地域連携室へリニア搬送）

外来看護師

1. パス不適用となった場合、地域連携室へ連絡

和歌山県立医科大学附属病院 外来診察

- ◆血液検査結果報告用紙にデータを記入または添付し、診療情報提供書とともに患者に渡す

地域連携室

- かかりつけ医への連絡
- その他情報提供、今後の相談

患者

連携医療機関（かかりつけ医）

- 大腸がん地域連携パスに沿って、日常診療をおこなう。
- 当院受診時に必要な診療情報提供書を患者に渡す。

